

第 108 回監視・評価検討会 本日の確認事項

原子力規制庁

議題1. ALPS処理水の海洋放出に関連する審査・検査等の結果

- ・ 原子力規制庁が、設備だけでなく実際に水を流して行った通水試験等についても確認しているということを、積極的に説明して欲しい。(蜂須賀委員)
- ・ 放出開始後の運用について、パブリックコメントで保安検査で確認していくと回答した項目については、引き続き保安検査で確認して欲しい。(高坂オブザーバー)
- ・ 放出開始後初期の間、上流水槽で希釈後のトリチウムの濃度を確認することについて、結果を検討会で説明して欲しい。(高坂オブザーバー)

議題2. 1号機PCV内ペDESTALの状況を踏まえた対応状況

- ・ ダスト放出時の建屋内線量への影響についても、廃炉作業への影響の観点から考慮すべき(井口委員)

議題3. 中期的リスクの低減目標マップにおける取組の進捗状況

- ・ リスクマップ上目標を達成した設備についても、運用開始後の保全についてリスク低減が続くように管理していくべき(原子力規制庁)

- ・ スラリー脱水に関する原子力規制庁と東京電力の認識の差について、議論の上で認識を合わせて説明してほしい(井口委員)
- ・ ゼオライト回収等遅れている案件について、安全確保をしながらも早期にリスク低減を図るべき(蜂須賀委員)
- ・ ゼオライト回収等遅れている案件について、後段の目標・工程への影響についても評価するべき(高坂オブザーバー)
- ・ 個別の目標について、東京電力から全体像を説明した上で課題についての検討状況を示すこと(原子力規制庁)

議題4. その他

- ・ 地下水対策については、包括的・長期的な観点から議論ができるように、全体像の説明を準備すること(橘高委員、原子力規制庁)

・ 本資料は、検討会において認識共有した内容をもとに作成し、ホームページに掲載しています。
なお、会議の進行と同時並行で作成しているため、正確な表現ではない部分があります。